

この人に会いました



みちのくコミュニティセンター

草野峰子 さん

福島県南相馬市（上中在住）

原発事故により、福島県から避難してこられた草野さんにお話を伺いました。

子供たちの健康を心配し、離れて暮らしている現状に心が痛みます。

一日でも早く、安心して家族と一緒にくらす日が来ることを願っています。

避難生活を続けていらっしゃる皆様の現況を教えてください。

現在の避難者数は22家族64人でそのほとんどが子供への放射能の影響を心配されて祖父母、夫と離れ避難されている母子です。住んでいらっしゃる地域は土樽地区と湯沢地区がほとんどで、子供たちは学校での触れ合いで早くから和が広がっていますが、母親はそういつた機会が少なくこもりがちで孤立していたのが、少しずつ「ママトモ」が広がりがつつあるのが現状です。

具体的にはどのような活動を行っているんですか？

毎日の交流や情報伝達と、月に2回水曜の九時半から公民館和室で交流会を行っています。先日は保健センターの調理室で料理をして食事を行いました。避難者同士のコミュニケーションは出来ましたので、これからは湯沢町の人達ともっと触れ合えればと思います。

湯沢町に住んでみてどのような印象をうけたか教えてください。

避難当初から良くして頂いて大変感謝しています。

四季がはつきりしていても綺麗で、町の人達はみんな暖かくて湯沢が大好きになりました。

調理中の様子



食事会の様子

編集 後記

明けましておめでとうございます。昨年度より、町議会を町民のみならず、

この3月定例会から、議会の一般質問も音声ですがFM雪国及びインターネットで配信されるようになりました。

議会だよりにつきましても、できるだけわかりやすくお伝えするよう努力いたしておりますが、まだまだ手探りの状態です。

今回の議会だよりは、スキー産業をとりまく環境が厳しい状況下での、湯沢高原の契約更新について、出来るだけ多くを掲載することを主といたしました。

今後も親しみやすい『議会だより』を目指してまいりますので、ご要望等ございましたらなんなりと申し付けてください。よろしくお願いたします。

広報委員長 角谷 勉

広報委員会

委員長 角谷 勉

副委員長 白井孝雄

岸野雅人・高橋綾夫・

関 忠夫・宮田真理子

編集

湯沢町議会広報常任委員会